

【談話】衆議院沖縄3区補欠選挙の結果を受けて

2019年4月21日

国民民主党代表 玉木雄一郎

本日、衆議院沖縄3区と大阪12区の補欠選挙が実施され、沖縄3区ではわが党が支援した屋良朝博候補が、自民党の公認候補を破り当選しました。ご支持、ご支援を賜りました多くの皆様に、心よりお礼申し上げます。

屋良候補は、ジャーナリストとして長きにわたり沖縄の基地問題に取り組み、その解決策を模索し続けてきたエキスパートです。今回の選挙戦では、基地問題のほか、子ども子育て支援、沖縄経済振興など明確なビジョンを示し有権者に訴えました。その姿勢に、私たち国民民主党も共鳴し、全力で支援を行いました。

選挙戦の最大の争点は、米軍普天間基地の名護市辺野古への移転問題でした。政府は、昨年9月の沖縄県知事選挙、本年2月の住民投票、そしてこのたびの補欠選挙で示された民意を尊重すべきです。新たに軟弱地盤が発見されたことも踏まえて、辺野古の新基地建設についてはゼロベースで見直すことを求めます。また、日米地位協定も速やかに改定すべきです。

今回の補選は、夏の参議院選挙の前哨戦であり、同時に一つのモデルになると考えます。野党が明確な争点を掲げ、連携を強化して戦うことで、国民に選択肢を提示することができます。わが党としては、参議院選挙でも、また、仮に衆参同日選挙となった場合でも、勝利を勝ち取るべく、候補者の発掘、調整を加速していきます。